

来年度予算に関する要望書を
西脇知事に提出



左から
池田代幹、近藤団長、西脇知事、荒巻代幹、能勢政調会長

11月2日、自民党府議団を代表して、近藤永太郎団長、荒巻隆三代表幹事・池田正義代表幹事、能勢昌博政調会長が、コロナ禍の長期化及び物価高騰等関連緊急対策をはじめとする要望書を、西脇知事に提出いたしました。

令和4年度9月補正予算(追加)案
総額 92億5,400万円

1.事業者へのエネルギー価格高騰対策

◆小規模事業者等が行う省エネ対策や経営効率化の取組への支援
原油価格・物価高騰等への対応のための省エネ機器やシステム導入等を支援

30億円

◆医療機関や社会福祉施設等の光熱費負担を軽減
診療報酬や介護報酬などが法令等により定められている医療機関や社会福祉施設等を支援

14億5,900万円

◆伝統産業の産地組合や中小企業組合等の燃料費負担を軽減
生産工程の存続が危惧される伝統産業の産地組合や中小企業者の生産・加工工程を担う中小企業組合等を支援

9,000万円

2.年末に向けた府民生活支援

◆物価高騰や長期化するコロナ禍の影響で生活にお困りの方々を支援
食料品や生活必需品の配布等による生活支援の実施
就労環境や生活不安などへの相談に、年末年始も切れ目なく対応

2,200万円

3.全国旅行支援への対応

◆コロナ禍の影響で落ち込んだ府内観光の需要回復を促進

46億8,300万円

■森林・林業活性化議員連盟



「木材供給量の増大に向けて」をテーマに、京都府における素材生産と木材需要の拡大や府内の主伐と再造林の現状を学び、森林や林業を巡る情勢について農林水産部や府森連、府木連から提案があった。

新型コロナウイルス感染症や円安によって、木材の需給や価格が非常に不安定な今、公共施設の木造・木質化の推進や京都府内産木材の安定供給体制の整備についての意見交換を行った。

■京都造園建設業協会との意見交換会



新型コロナウイルス感染症拡大により開催規模を縮小しながらの府庁のヒマラヤスギ剪定ボランティア活動や、風圧軽減型剪定技術公開事業として京都の造園業界に代々伝わる透かし剪定技術がもたらす防災面での取組等についての意見交換を行った。また今後の公共樹木の防災・減災対策の重要性についても再確認をした。

決算特別委員会 総括質疑の一部抜粋です。※京都府議会のHP (<http://www.pref.kyoto.jp/gikai/index.html>) で録画中継をご覧になることができます。

決算特別委員会総括質疑

令和3年度決算について
自然災害の伝承について
持続可能な農業振興について

①令和3年度はコロナ対策に加え、総合計画に向けた各種施策を進め、決算規模は過去最大の1兆3千億円超となりその評価は。長期化する物価高騰等に対する更なる支援の必要が生じているが財政運営が難しい局面であるがお考えは。
②全国で発生した災害は各地域に多大な被害をもたらし、それらの災害の教訓は各地で図画・物語、災害伝承碑で残されているが、京都府として体系的に整理されず、京都府が主体的に関与し、市町村や市民、NPOなどと連携し、教育機関、府内市町村が作成されるハザードマップへの掲載等あらゆるツールで発信すべきだ。
③ウクライナ侵略等の影響や円安により、化学肥料原料の価格が上昇し、農家経営に大きな影響が出て、化学肥料の2割低減に対し、上昇の7割を国が支援があるが十分か。



亀岡市
中村 正孝

1 自然災害対策について
2 海の京都・森の京都DMOについて
3 地域産業の人材確保と育成について

①導入準備中の水位・氾濫予測システムの実用化見通しは。令和5年度中の稼働を目指す府危機管理センターの役割や機能、各市町村が準備すべきことは、福知山市に設置される府中・北部地域消防指令センターとの連携は。避難行動タイムラインの作成状況と課題は。
②観光事業はコロナ禍で大きな影響を受けたが、設立以来のDMOの評価や課題、新たな事業展開は。地域課題に対応する専門人材が置かれたが、地域の活力創出や稼ぐ力をどのように向上させるのか。
③地域産業を支える人材育成に向け、府立高校の職業学科の学びをどのように充実・深化させていくのか。全国初の地域創生科が創設された大江高校の評価や課題は。府立福知山高等技術専門校の入校者の状況や、訓練終了後の就職状況、課題や今後の方向性はどうか。



福知山市
家 元 優

中小企業・小規模事業者の事業承継
久御山町「みなくるタウン」の整備
新型コロナに対する府教委の対応

①中小企業・小規模事業者の現状は、新型コロナウイルス感染症の流行とウクライナ情勢による原油・原材料価格の高騰など依然と厳しい状況にあるが、事業承継について府の取組状況と今後の展開は。
②久御山町の新市街地「みなくるタウン」の整備は、「農業」と「ものづくり」の2大産業に更なる発展を目指し、職住近接の環境を整備するものであるが、京都府の支援は。
③新型コロナウイルス感染症の拡大により、教育を取り巻く環境は大きく変化し、学びの保障を含めた児童生徒への影響が危惧されたが、これまでの取組状況と、その結果について。
④スポーツ観戦と婚活を組み合わせたサンガ婚やハンナリーズ婚の効果と、スポーツ以外の分野への展開は。



宇治市・久世郡
萩原 豊久

新型コロナ感染症に関するお困り事・ご要望は地元の議員にご相談ください。

